

愛知県立芸術大学 大学院
学生募集要項

音 楽 研 究 科
博 士
前 期 課 程

平成 **23** 年度

愛知県立芸術大学のアドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

●音楽研究科のアドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は平成 19 年度より一専攻 7 研究領域に改組し、学部、専攻、領域の垣根を超えた柔軟で横断的な教育・研究システムの構築を目指しています。さらに、より高度な研究に対応するために平成 21 年度には博士後期課程を設置しました。「より深く、より柔軟に」を教育・研究のモットーとする環境のなか、高度な専門性と領域を超えた幅広い知識、旺盛な国際感覚を駆使して自ら社会のニーズを掘り起こす能力を磨き、将来の音楽界を担うべく人材を求めています。

●音楽研究科のディプロマ・ポリシー

大学院音楽研究科では高度な専門性と幅広い知識、旺盛な国際感覚をモットーに、現社会における真の音楽芸術のプロとしての能力を磨く事を教育・研究の柱としています。院生自身が音楽に対する社会のニーズの本質を的確に把握し、それを自らの能力で高度化・活性化させるノウハウを身に付けることが望まれます。柔軟で多様なカリキュラムを目的に合わせて効率よく修得し、その成果を学内はもとより地域社会、国際社会に広くアピールする努力を高く評価いたします。

*以上の研究内容を所定の単位取得と修了演奏、修了論文等の審査により学位を授与する。

平成 23 年度愛知県立芸術大学大学院音楽研究科 博士前期課程学生募集要項

1 募 集 人 員

音 楽 研 究 科	音 楽 専 攻	領 域	募集 人員
		作曲	30名
		音楽学	
		声楽	
		*鍵盤楽器（ピアノ）	
		弦楽器	
		管楽器	
		打楽器	

（*平成 23 年度においてはピアノを専門とする学生のみ受け入れます。）

2 出 願 資 格

本研究科に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 23 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成 23 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 23 年 3 月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 23 年 4 月 1 日までに 22 歳に達した者

※ 出願資格(8)により出願しようとする者は、必ず平成 22 年 8 月 6 日（金）までに学務課に申し出て、その指示を受けてください。

3 出 願 手 続

- (1) 出願期間及び方法
平成 22 年 9 月 1 日(水)から 9 月 8 日(水)までの郵便局消印のあるもの
- (2) 願書の受付はすべて所定の封筒を用い「書留郵便」による郵送に限ります。
普通郵便及び直接持参は受理しません。
- (3) 封筒の表の志望領域名を○で囲んでください。

4 出 願 書 類

(1)、(4)、(6)、(7)、(8)、については、本募集要項に綴り込んである用紙を用いてください。

本学卒業者及び本学卒業見込みの者は、(2)、(3)の書類は不要です。

(1) 入 学 願 書

願書に記入する氏名は必ず戸籍と同一のものを記入してください。その他の提出書類についても同様です。

(2) 出身大学の成績証明書

出身大学長又は学部長が作成したもの

(3) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書

(注1) 学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位証の写し、授与見込の者については学位授与機構による授与申請を受理した証明書(学位授与申請受理証明書)

(4) 写 真 2枚(縦4cm×横3cm)

正面、上半身、脱帽、出願前3か月以内に撮影したものを、受験者写真票及び受験票に貼付してください。

(5) 受験許可書

現在教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で服務義務のある者は、所属長の受験許可書を、また大学院に在学中の者は、当該大学長の受験許可書を添付してください。(様式は随意)

(6) 返信用封筒 1枚(受験票等送付用)

自己の受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、速達郵便料分(350円)の切手を貼付してください。

(7) 入学検定料 30,000円

ア 入学検定料は、振込依頼書により必ず金融機関の窓口から入金してください。

ATMからは入金しないでください。

イ 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付けをしてください。

ウ 振込依頼書のご依頼人は受験生本人の氏名で行ってください。

(8) 研究計画書

音楽学領域以外の志望者は1,200字程度の研究計画書を所定の様式で提出してください。

(9) そ の 他

ア 既納の入学検定料は、還付しません。

イ 提出書類の不備のものは、受理しません。

ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。

エ 受験票は、入学手続の時まで大切に保管してください。

オ 外国人留学生は、各出願書類の日本語訳を添付してください。

カ 外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。

5 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障がい等を有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

(1) 申し出の時期

平成22年8月6日(金)まで

(2) 申し出の方法

次の事項を記載し、学務課まで書面で申し出てください。

- ①志望領域 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項
なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。

(3) 相談の時期

平成 22 年 8 月 18 日(水)まで

(4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書(身体障害者手帳を有する者はその写し)を添えて自己申告してください。必要に応じ、本研究科において志願者との面談等を行います。

6 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114 (〒480-1194)

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 学務課

電話 0561-62-1180 (代表) (照会時間午前 9 時から午後 5 時まで)

ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。

7 選抜方法

入学者の選抜は、**実技**(作品提出を含みます)、**学力検査**、**面接試験**及び**出身大学の成績証明書**を総合して判定します。

試 験 場 本 学

8 合 格 発 表

(1) 日 時 平成 22 年 11 月 1 日(月)午前 11 時

(2) 場 所 本学 管理棟で掲示します。

(電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。)

※ 合格者には、合格通知書及び入学手続要領を郵送します。

9 入 学 手 続

(1) 手続日

平成 22 年 12 月 24 日(金) 午前 9 時 30 分～午後 4 時

(2) 場 所

本学管理棟 2 階

(3) 納入金

ア 入学料 282,000 円

イ 授業料(前期分) 267,900 円

平成 23 年 4 月 1 日付で出願時の住所に授業料振込依頼書を送付します。

入学料及び授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。平成 23 年度入学料また授業料は、改定されることがあります。

(4) 入学料振込にあたってのお願い

- ・ 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料を納入し、所定の提出書類及び入学料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
- ・ 入学料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。ATMからは入金しないでください。
- ・ 振込金依頼書のご依頼人は**受験生本人の氏名**で行ってください。
- ・ 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

10 試験日程及び試験科目

領 域 年月日		音 楽 学	作 曲	声 楽	鍵盤楽器	弦 楽 器	管楽器	打楽器
平成 22 年 10 月 23 日 (土)	実 技 試 験 等	研究計画に基づく 口述試験 13:00～ 中演奏室	※提出作品 を中心とし た口述試験 13:00～ 小演奏室B	実 技 10:00～ 奏楽堂	実 技 9:30～ 大演奏室	実 技 13:00～ 管打レッスン室	実 技 13:00～ 大合奏室	
10 月 24 日(日)		外国語(英、独、仏、 伊から2ヶ国語) 9:30～11:30 奏楽堂第1教室	西洋音楽史 9:30～10:30 新講義棟					
			外国語(英、独、仏、伊から1ヶ国語) 11:00～12:00 新講義棟					
		音楽学(西洋音楽史 または音楽民族学か ら1科目) 12:30～14:00 奏楽堂第1教室		面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	
11 月 1 日(月)		最終合格発表 午前 11 時 場所:本学管理棟で掲示						

※作曲提出作品については次頁の「11 試験曲目等 1.作曲領域の提出作品」を参照してください。

(注)1 外国語については、辞書の持ち込みを許可します。ただし、電子辞書の使用は認めません。

2 遅刻した場合は、受験できないことがありますから注意してください。

1 1 試 験 曲 目 等

1. 作曲領域の提出作品

- (1) 4曲以上(種類は問わない)の作品を平成22年10月1日(金)から10月15日(金)の間に学務課へ提出してください。(郵送の場合は、平成22年10月1日(金)から10月15日(金)の郵便局消印のあるものに限ります。期日を厳守してください。なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻作曲領域提出作品」と朱書してください。)
- (2) 作品を学務課へ直接提出する場合は、午前10時から午後4時までとします。(ただし、土・日曜日、祝祭日等、大学事務局が休業となる日は受け付けません。)

2. 音楽学領域の研究計画書

- (1) 音楽学領域の志望者は4,000字程度の研究計画を所定の様式で、平成22年10月1日(金)から10月15日(金)の間に学務課へ提出してください。
(郵送の場合は、平成22年10月1日(金)から10月15日(金)の郵便局消印のあるものに限ります。期日を厳守してください。なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻音楽学領域研究計画書」と朱書してください。)
- (2) 研究計画書を学務課へ直接提出する場合は、午前10時から午後4時までとします。(ただし、土・日曜日、祝祭日等、大学事務局が休業となる日は受け付けません。)

3. 声楽実技

- (1) アリアと歌曲による10分以上15分以内のプログラムを、入学願書の「受験曲目・作曲者名」欄に記入し、提出してください。10分未満の場合は失格とします。
*アリアはオペラアリア、コンサートアリア又は宗教曲アリアより、原則として原調とします。
*アリアと歌曲の両方を必ず暗譜で演奏してください。
*作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。
*曲目は当日指定する場合があります。
- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。

4. 鍵盤楽器(ピアノ)実技

任意の作品による15分~20分程度の2組のプログラムを用意してください。(暗譜)
申し込み時に入学願書の「受験曲目・作曲者名」欄にA組、B組と記入し提出してください。
作曲家は複数も可。ただし、A組とB組の作曲家は異なるものとします。
当日、A組、B組のいずれかを試験場にて指定します。
時間の都合により演奏をカットする場合があります。

5. 弦楽器実技

○ヴァイオリン

次の2曲を演奏(暗譜)してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J.S.Bach: Sonaten für Violine solo g-moll (BWV1001)、a-moll (BWV1003)、
C-dur (BWV1005) より任意の Fuge 1 曲。使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)~(f)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。伴奏者を同伴してください。使用版は自由
- (a) L.v.Beethoven: Konzert D-dur

- (b) J. Brahms: Konzert D-dur
- (c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll
- (d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur
- (e) A. Dvořák: Konzert a-moll
- (f) J. Sibelius: Konzert d-moll

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) 次のグループ(a)、(b)より任意の1曲。使用版は自由

- (a) J. S. Bach: Sonate für Violine solo g-moll (BWV1001)

より Adagio のヴィオラ版 (c-moll)

- (b) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo (BWV1007～1012)

より任意の Prélude 1 曲

- (2) 次のグループ(a)～(c)より任意の1曲。伴奏者を同伴してください。

- (a) W. Walton: Konzert より第1楽章 使用版は自由

- (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher” より第1楽章 使用版は自由

- (c) B. Bartók: Konzert (遺作) より第1楽章 Boosey&Hawks 版

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo (BWV1007～1012)

より任意の Prélude 1 曲

使用版は自由

- (2) 次のグループ(a)～(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。伴奏者を同伴してください。使用版は自由

- (a) J. Haydn: Konzert C-dur

- (b) J. Haydn: Konzert D-dur

- (c) A. Dvořák: Konzert h-moll

- (d) R. Schumann: Konzert a-moll

○コントラバス

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) Hans Fryba: A suite in the olden style より Gavotte 使用版は自由

- (2) 次のグループ(a)～(f)より任意の1曲の第1楽章・第2楽章。伴奏者を同伴してください。使用版は自由

- (a) G. Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

- (b) K. D. v. Dittersdorf: Konzert E-dur

- (c) D. Dragonetti: Konzert A-dur

- (d) F. A. Hoffmeister: Konzert Nr. 1 D-dur

- (e) J. B. Vanhal: Konzert D-dur

- (f) S. Koussevitzky: Konzert fis-moll

○ハープ

次の3曲をすべて繰り返しなしで演奏(暗譜)してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

使用版は自由

- (1) J.L.Dussek: Sonate c-moll
- (2) M.Glinka: Variations on a theme of Mozart
- (3) G.Pierné: Impromptu-Caprice

6. 管楽器実技

すべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。

なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

受験曲目については、フルートの自由曲以外は入学願書に記入する必要はありません。

○フルート

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) W.A.Mozart: Concerto in G major K.313 第1楽章<カデンツァ付き>

*カデンツァは自由

- (2) 5分程度の曲を演奏してください。

* (2)の曲目は入学願書の「受験曲目・作曲者名」欄に記入し提出してください。

○オーボエ

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) W.A.Mozart: Concerto in C major K.314 全楽章<カデンツァ付き>
- (2) B.Britten: Six Metamorphoses after Ovid Op.49 for Oboe Solo より

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) W.A.Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K.622
- (2) I.Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

○バスーン (ファゴット)

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) F.Devienne: Sonata in F Op.24 No.3
1.Allegro 2.Largo 3.Rondo Allegretto
- (2) E.Bozza: Récit.Sicilienne et Rondo

○サクソフォーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) P.Hindemith: Sonate Schott 版
ただし、第4楽章はロンデックスが補足した部分を演奏してください。
- (2) J.Rueff: Sonate Leduc 版

○ホルン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) W.A.Mozart: Horn-Konzert Nr.4 Es-dur K.495 Breitkopf 版
- (2) P.Hindemith: Horn-Sonate F-dur 使用版は自由

○トランペット

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) J. Haydn: Konzert für Trompete Es-dur (B管使用)
- (2) A. Honegger: Intrada pour trompette en ut et piano

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) E. Reiche: Konzert Nr. 2 A-dur
- (2) V. Persichetti: Parable for Solo Trombone

○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

使用版は自由

- (1) F. David: Konzert in B-dur
- (2) F. Hidas: Meditation

○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。

- (1) J. S. Bach: Sonate für Viola da gamba (Violoncello)
und Klavier Nr. 1 (BWV 1027) より第1楽章、第2楽章
- (2) J. Horowitz: Euphonium Concerto より第2楽章、第3楽章

使用版は自由

Novello 版

○テューバ

下記の2曲を演奏してください。

- (1) E. Bozza: Concertino pour Saxhorn basse en Si b et orchestre ou piano
(ソロパートはテューバ用を使用してください。)
- (2) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Suite I (BWV 1007) より
Courante, Menuetto I-II.
原調で演奏してください。

Leduc 版

使用版は自由

7. 打楽器実技

受験者は、伴奏者を同伴してください。

時間の都合により演奏をカットする場合があります。

A、Bのどちらかを選択してください。

A 打楽器 (申込時に使用楽器名およびセッティング図を必ず同封してください。)

以下から1曲を選択し演奏してください。

- (1) Werner Thärichen: Konzert für Pauken und Orchester op. 34
- (2) Maurice Jarre: Suite ancienne pour Instruments à percussion et Piano

使用版は自由

Leduc 版

B マリンバ

原則として暗譜で演奏してください。

Anders Koppel: Concerto for Marimba and Orchestra

Norsk Musikforlag A/S 版

12 教 員 組 織 (平成22年4月1日現在)

学 長	磯 見 輝 夫		
音楽研究科長	戸 山 俊 樹		
客 員 教 授	声 楽	ビルギッタ・ノルドフアルク (コントラルト)	
	鍵 盤 楽 器	ヴァディム・サハロフ (ピアノ)	
	弦 楽 器	デヴィッド・ノーラン (ヴァイオリン)	
	オーケストラ	外山 雄三 (指揮法)	
作 曲	教 授	寺井 尚行	教 授 久留 智之
	教 授	小林 聡	准 教 授 山本 裕之
音楽学	教 授	増山 賢治	教 授 井上 さつき
	准 教 授	安原 雅之	
声 楽	教 授	大下 久見子 (ソプラノ)	教 授 二神 二郎 (テノール)
	教 授	戸山 俊樹 (バス)	教 授 末吉 利行 (バリトン)
	准 教 授	中巻 寛子 (メゾ・ソプラノ)	准 教 授 森川 栄子 (ソプラノ)
鍵盤楽器	教 授	牧野 纈 (ピアノ)	教 授 加藤 美緒子 (ピアノ)
	教 授	松本 総一郎 (ピアノ)	教 授 熊谷 恵美子 (ピアノ)
	准 教 授	北住 淳 (ピアノ)	准 教 授 掛谷 勇三 (ピアノ)
	准 教 授	鈴木 謙一郎 (ピアノ)	
弦楽器	教 授	天野 武子 (チェロ)	教 授 百武 由紀 (ヴィオラ)
	教 授	福本 泰之 (ヴァイオリン)	准 教 授 白石 禮子 (ヴァイオリン)
	准 教 授	桐山 建志 (ヴァイオリン)	
管楽器	教 授	村田 四郎 (フルート)	教 授 武内 安幸 (トランペット)
	准 教 授	竹村 淳司 (ホルン)	准 教 授 原田 綾子 (クラリネット)
打楽器	准 教 授	深町 浩司 (打楽器)	
教養教育等	教 授	内田 善孝 (原典研究・仏語)	
	教 授	二瓶 浩明 (特殊研究)	
	准 教 授	水野 留規 (原典研究・伊語、特殊研究)	
	准 教 授	大塚 直 (原典研究・独語)	
	准 教 授	井土 慎二 (原典研究・英語)	

非常勤講師（平成22年4月1日現在）

作 曲

岩本 渡（キーボード）	北爪 道夫（特殊研究）	三輪 眞弘（特殊研究）
中村 滋延（特殊研究）	野津 如弘（特殊研究）	長崎 貴洋（特殊研究）
ダニエル・フォルロー（特殊研究）	檜垣 智也（特殊研究）	尾本 章（特殊研究）

音楽学

遠藤 衣穂（特殊研究）	小沢 優子（特殊研究）	水野 みか子（特殊研究）
佐藤 正浩（コレペティトゥール）	大西 たまき（アート・マネジメント）	
中尾 知彦（アート・マネジメント）		

声 楽

岩井 理花（声楽実技）	大橋 ゆり（声楽実技）	岡寄 智恵子（声楽実技）
小林 史子（声楽実技）	佐橋 美起（声楽実技）	高野 二郎（声楽実技）
萩原 理恵（声楽実技）	日紫喜 恵美（声楽実技）	松下 雅人（声楽実技）
三崎 今日子（声楽実技）	佐藤 正浩（オペラ指揮・重唱）	飯塚 励生（オペラ演出）
山本 敦子（コレペティトゥール）	石山 英明（コレペティトゥール・重唱）	

鍵盤楽器

上田 道子（ピアノ実技）	重松 正大（ピアノ実技）	田村 安佐子（ピアノ実技）
中川 朋子（ピアノ実技）	中畑 淳（ピアノ実技）	永岡 信幸（ピアノ実技）
米川 幸余（ピアノ実技）	朝川 万里（ピアノ実技）	服部 久美子（ピアノ実技）
鶴見 彩（ピアノ実技）	永野 美佐子（ピアノ実技）	西川 秀人（ピアノ実技）
根木 真理子（ピアノ実技）	棕木 裕子（ピアノ実技）	佐藤 鈴子（ピアノ実技）
小坂 圭太（ピアノ実技）	佐藤 俊（ピアノ実技）	榊原 祐子（特殊研究・ピアノ実技）
安井 直子（チェンバロ実技）		徳岡 めぐみ（オルガン実技）

弦楽器

和波 孝禧（ヴァイオリン実技・特殊研究）		久保田 巧（ヴァイオリン実技）
松波 恵子（チェロ実技）	奥田 一夫（コントラバス実技）	渡邊 萬里（ハープ実技）
日比 浩一（特殊研究）	小林 道夫（特殊研究）	

管楽器

寺本 義明（フルート実技）	和久井 仁（オーボエ実技）	浦 丈彦（オーボエ実技）
磯部 周平（クラリネット実技）	青谷 良明（バスーン実技）	田中 靖人（サクソフォーン実技）
服部 孝也（トランペット実技）	藤澤 伸行（トロンボーン実技）	小幡 芳久（バストロンボーン実技）
露木 薫（ユーフォニアム実技）	萩野 晋（テューバ実技）	

打楽器

神谷 百子（マリンバ実技）	オーケストラ	教養教育等
	栗田 博文（指揮法）	ロムアルド・バローネ（特殊研究）

13 入 試 情 報

(1) 平成23年度入試について

① 評 価 基 準

本学大学院音楽研究科で、研究を深めるために必要な実技の能力と学力を問います。

② 判 定 基 準

専門領域の能力を重視し総合的に判断します。

③ 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、音楽研究科入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- | | |
|-----------------------|--|
| i 開 示 請 求 で き る 範 囲 | 科目別得点並びに領域別実技試験及び面接試験のランク |
| ii 開 示 で き る 期 間 | 最終合格発表日から1か月間 午前9時から午後5時まで
ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除く。 |
| iii 開示請求の受付を行う場所 | 本学管理棟3階 管理課 |
| iv 開 示 の 方 法 | 本人部分のみ閲覧。 |
| v 開 示 請 求 に 必 要 な 書 類 | 受験票のほか、運転免許証、旅券その他官公署の発行する
証明書等の一つを持参してください。 |
| vi 開 示 請 求 方 法 | 受験者本人が、口頭で本学管理課に申し出てください。 |
| vii そ の 他 | 電話による問い合わせには応じません。また、郵送による
結果の開示は行いません。 |

(2) 平成22年度入試について

① 入学試験実施状況

	領 域	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学辞退者数
音 楽 研 究 科	作 曲	30	2	2	2	2	0
	音 楽 学		2	2	1	1	0
	声 楽		25	24	11	11	0
	鍵盤楽器 (ピアノ)		18	16	8	8	0
	弦 楽 器		9	7	6	6	0
	管 楽 器		2	2	1	1	0
	打 楽 器		1	1	1	1	0
	計	30	59	54	30	30	0

② 試 験 問 題

次頁以降に平成22年度の問題を添付。

【平成22年度入試】 試 験 問 題

作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器（各領域）

西洋音楽史

I. 2 題を選び、作品を挙げながら具体的に論じなさい。

- (1) 20 世紀前半のオペラ
- (2) 20 世紀前半の室内楽
- (3) 20 世紀前半の管弦楽曲
- (4) 20 世紀前半の鍵盤音楽

II. 4 題を選び、説明しなさい。

- (1) 多調性
- (2) 付随音楽
- (3) ナンカロウ
- (4) 音楽新報 (Neue Zeitschrift für Musik)
- (5) ミサ通常文
- (6) リズム・モード
- (7) グラントペラ (grand opéra)
- (8) ブルゴーニュ楽派
- (9) オンド・マルトノ
- (10) カメラータ

音楽学領域

西洋音楽史

I. 1 題を選び、答えなさい。

- (1) 18 世紀の管弦楽作品
- (2) 19 世紀のソナタ形式
- (3) 20 世紀音楽における調性

II. 1 題を選び、論じなさい。

- (1) 音楽における民族性
- (2) 演奏における即興

作曲・音楽学・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器（各領域）

外国語（英語・独語・仏語・伊語）の試験問題は

本学管理棟 2 階 学務課において閲覧できます。

閲覧期間 平成 22 年 8 月 2 日（月）から 8 月 31 日（火）までの
土・日曜日と 8 月 13 日（金）、8 月 16 日（月）を除いた日

閲覧時間 午前 9 時から午後 4 時まで

* 受験番号	M
--------	---

博士前期課程研究計画書（音楽学領域）

領域 音楽学

氏名

このページを表紙にして、研究計画書を添付してください。
計画書の様式は以下のとおりです。

- 1 研究テーマ、目的、方法、計画、期待される成果について、4,000字程度にまとめてください。
- 2 ワードプロで書く場合には、A4 サイズの用紙を縦長に使用し、1 ページあたり、横書きの 40 字×30 行に設定してください。
- 3 原稿用紙に書く場合には、A4 縦長の 20 字×20 行の用紙を使用してください。

* 受験番号欄は記入しないでください。

* 受験番号	M
--------	---

博士前期課程研究計画書

(音楽学領域以外)

領域

氏名

このページを表紙にして、研究計画書を添付してください。
計画書の様式は以下のとおりです。

- 1 研究のテーマ、目的、方法、計画、期待される成果等について、
1,200 字程度にまとめてください。できるだけ具体的に書いてください。
- 2 ワードプロで書く場合には、A4 サイズの用紙を縦長に使用し、
1 ページあたり、横書きの 40 字×30 行に設定してください。
- 3 原稿用紙に書く場合には、A4 縦長の 20 字×20 行の用紙を使用してください。

* 受験番号欄は記入しないでください。

◆ 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

・ 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ期限	平成 22 年 8 月 24 日（火）
---------	---------------------

・ 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ期限	平成 22 年 11 月 15 日（月）
---------	----------------------

・ 授業料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- 3 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- 4 上記1、2、3以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

問い合わせ期限	平成 22 年 11 月 15 日（月）
---------	----------------------

◆ 問合せ先 学務部学務課 電話 0561-62-1180（代表） 内線 434

振込にあたってのお願い

・ 振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振込みください。

ＡＴＭ（現金自動預払機）は、利用しないでください。

・ 振込手数料は、各自ご負担ください。

・ 郵便局及びコンビニでは、納付できませんのでご了解ください。

・ この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。

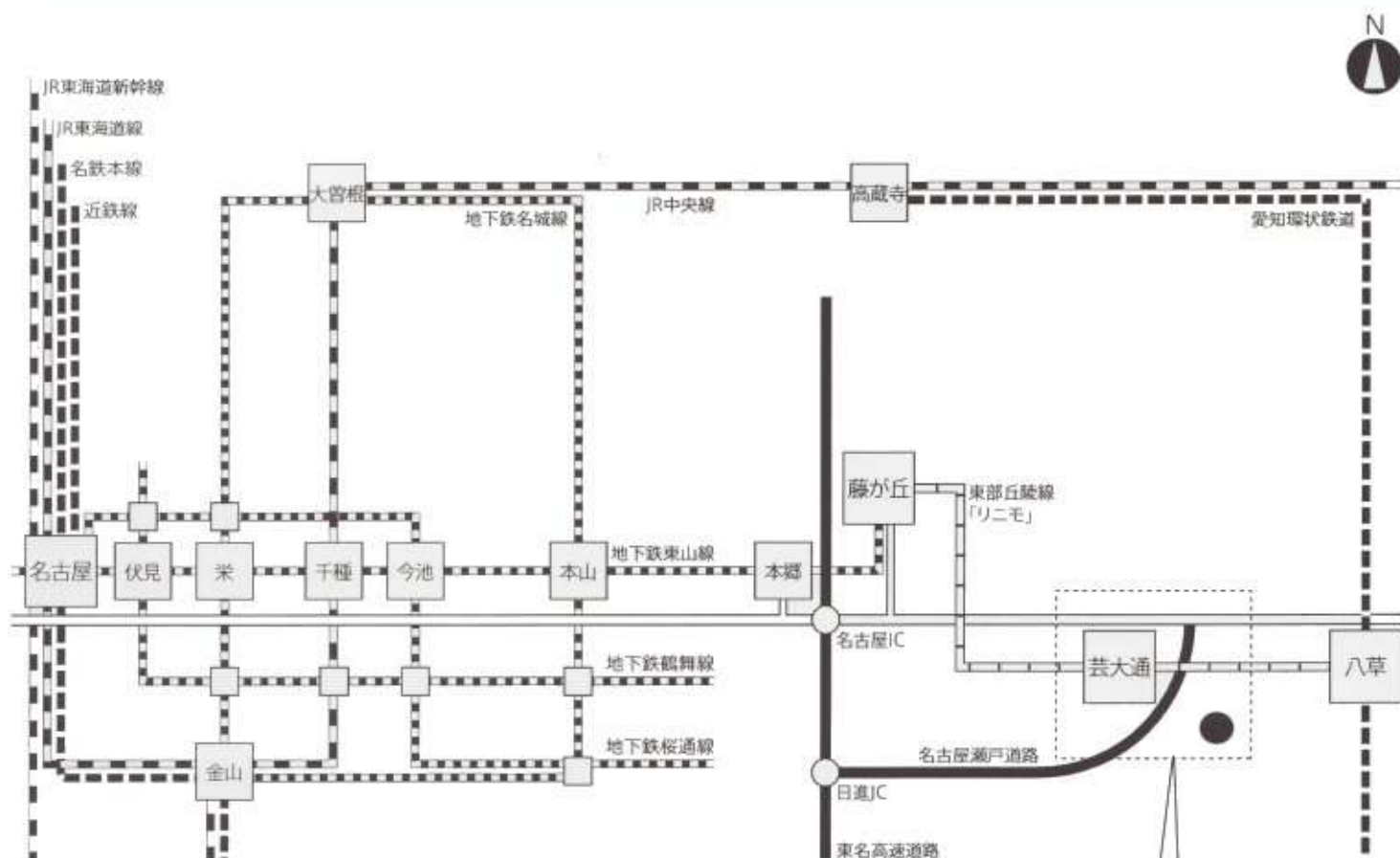
また、振込依頼書・受取書・検定料納付証明書は、ミシン線で切り離さないでください。

・ 本人確認法(*)の改正により、平成 19 年 1 月 4 日以降、金融機関の窓口で現金で 10 万円を超える振込を行う場合、本人確認のできる書類（運転免許証、健康保険証など）の提示を求められる場合がありますので、ご注意ください。

(*) 金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律

・ 記入例を参考に振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。

・ 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付けてください。



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」
駅下車、徒歩約10分。

若しくは市営地下鉄東山線「本郷」駅又
は「藤が丘」駅からタクシーで約15分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵
線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分。



 Aichi Prefectural University of Fine Arts and Music

愛知県立芸術大学 大学院
学生募集要項
音楽研究科博士前期課程

愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学 学務課

〒480-1194
愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-114
電話 0561-62-1180(代表)